

しかし、日系団体の援護活動の限界以上の問題点もあり、大使館、領事館、現地当該国等との連携に期待がかけられる。

オ 7 2 表 福祉制度 3 (公的援助の状況)

公的援助		国名		ベルー		ボリビア		パラグアイ		ブラジル		アルゼンチン		計	
		地域区分		A	A	B	A	B	A	B	A	A	B	人数	百分比
政府・自治体からの公的援助	受けていない		81	22	49	27	52	75	34	15			355	85.5	
	受けている		3	1	7	2	5	23	15	4			60	14.5	
	内 訳	軍人恩給	-	-	3	-	2	-	1	-	-			6	(10.0)
		厚生年金	-	-	-	-	2	-	-	-	-			2	(3.3)
		老人年金	-	-	-	-	-	-	18	9	2			29	(48.3)
		遺族年金	-	-	-	-	-	-	-	1	-			1	(1.7)
		融資制度	-	-	-	-	1	-	-	-	-			1	(1.7)
		敬老記念品	-	-	-	1	-	-	-	-	-			1	(1.7)
		その他	3	1	4	1	-	5	4	2				20	(33.3)
	未記入	5	-	3	3	4	33	-	4				52	-	
計		89	23	59	32	61	131	49	23			467	100		
現地当該国に対する援助希望	特にない	77	21	42	18	53	68	30	15				324	78.3	
	援助を受けたい	6	2	11	11	4	40	15	1				90	21.7	
	内 訳	年金(各種)	-	2	9	2	2	24	1	1				41	(45.6)
		医療(老人無料)	-	-	-	-	1	1	-	-				2	(2.2)
		老人福祉全般	-	-	-	-	-	2	8	-				10	(11.1)
		融 資	-	-	-	2	-	-	1	-				3	(3.3)
		日本のテレビ放映	-	-	-	-	1	-	-	-				1	(1.1)
	不 明	6	-	2	7	-	13	5	-				33	(36.7)	
未記入	6	-	6	3	4	23	4	7				53	-		
計		89	23	59	32	61	131	49	23			467	100		

注 1. 政府自治体からの公的援助～日本と当該国との両国の公的援助が混在している。

注 2. 内訳カッコ内の合計 = 100%

表7-3

福祉制度4 (日系団体の援助)

団体援助	地域区分	ペルー		ポリビア		パラグアイ		ブラジル		アルゼンチン	計	
		A	A	B	A	B	A	B	A	人数	百分比	
日系団体からの援助	受けたことがない	84	22	55	28	57	109	41	17	413	96.7	
	受けたことがある	1	1	1	2	1	6	2	-	14	3.3	
	内 訳	敬老会	-	1	-	-	-	1	-	-	2	(14.3)
		無料検診	-	-	-	-	-	2	1	-	3	(21.4)
		事業団融資	-	-	-	-	1	-	1	-	2	(14.3)
		その他	1	-	1	2	-	3	-	-	7	(50.0)
	未記入	4	-	3	2	3	16	6	6	40	~	
計	89	23	59	32	61	131	49	23	467	100		
日系団体に対する希望	特にない	63	18	37	12	33	90	24	12	289	71.7	
	望みたい	18	5	9	16	19	28	15	4	114	(28.3)	
	内 訳	生活費の援助	-	-	-	-	3	3	-	-	6	(5.3)
		融資	-	-	-	-	3	-	1	-	4	(3.5)
		老令年金支給	2	2	5	-	1	-	1	-	11	(9.6)
		敬老金支給	-	-	-	-	3	-	-	-	3	(2.6)
		日系老人ホーム設立	-	1	-	-	3	-	-	2	6	(5.3)
		老人センター設立	-	1	-	-	4	2	-	-	7	(6.1)
		老人クラブ結成	-	-	-	3	1	-	-	-	4	(3.5)
		医療の無料化	-	-	-	1	-	6	6	-	13	(11.4)
		医療施設の充実	6	-	1	-	-	2	3	1	13	(11.4)
		葬祭制度創設	-	-	3	-	-	-	-	-	3	(2.6)
		共同墓地を作る	-	-	-	1	-	-	-	-	1	(0.9)
		日本人学校開設	-	1	-	-	-	-	-	-	1	(0.9)
日本語教育の充実	-	-	-	1	1	-	-	-	2	(1.8)		
その他	10	-	-	10	-	15	4	1	40	(35.1)		

注1. 日本団体に望むこと～重複回答

注2. 内訳カッコ内の合計=100%

図表18 公的援助・団体援助の状況（各国合計）

政府自治体からの公的援助		受けていない 85.5%	
現地当該国への援助希望		特にない 78.3%	
日系団体から	援助現状	受けたことがない 96.7%	
	援助希望	特にない 71.7%	

注 政府自治体からの公的援助——日本と当該国との両国の公的援助が混在している。

第7章 老後生活のあり方(まとめ)

この報告はまず調査対象のプロフィールを明らかにして、続いて健康の状況、就労の状況、家庭生活の状況、福祉制度の状況を、調査票の回答を基にして解析してきた。本章はこれらのまとめの段階として、老後生活のあり方を探ることとする。

1. 老後の生活設計

(1) その有無

移住を志した以上はそれなりの理由を持っている筈である。そしてその心構えとして、永住か一時的稼働か、人思いの在り方を生活の支えとしたことであろう。しかしその当時の年齢の若さからは、果たして今日の老後生活にまで計画をめぐらしえたか、これを参考までに回答を求め、第74表、図表19にまとめた。

老後の生活設計を移住前に考えたもの462%、移住後に考えたもの538%で、移住前より移住後がおおよそ10%弱上廻っている。しかし、現在まで生活設計を持たないものが全体の47.9%を占め、これを楽道家と言うべきか、人事を尽して天命を待つ大悟型と言うべきか、いずれにせよ成り行き委せの人が案外に多いことを発見できる。

(2) 考えた年代

老後生活を考える年代は一般にはおおよそ中年過ぎという常識的なことが、ここでもよくあらわれている。

しかし20才代、30才代の頃、移住という人生の大転換期に、老後生活を考える人が多いのは当然のことと考えられる。これが20才代、30才代それぞれ15%前後を占めることになっていると思われるが、加齢に伴って増率する。そして50才代に39.5%を占めるに至ることとなる。

(3) 具体的計画

老後生活の具体的設計を持ったもの各国合計740%で、これは一応の計画は持ったが具体的な内容を伴わなかったもの260%をはるかに上廻っている。

具体的計画の内訳は、正確な回答でないための不明で処理したものを除き、第1位生活安定28.8%、第2位農業経営10.4%、第3位独立56%をベスト3とし、このほか果樹園経営、酪農計画の項目もみられる。しかし番1位、第3位が抽象的な回答となっていて、その傾向は知りうるとしても、満足できる回答とはなっていない。

(4) 生活設計と現実

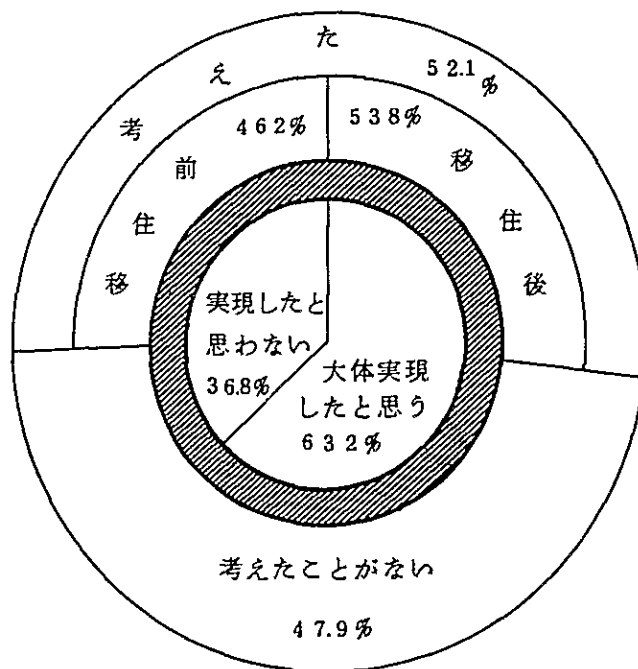
計画の実現度合いを見ると、大体実現したと思う63.2%で、実現したと思わない36.8%を30%程上廻っていることに敬意を表したい。しかし、実現したと思わない人びとの心境など精査したいところであるが、調査規模等からその余裕がないことを心残りするものである。

第74表 老後の生活設計

生活設計	地域区分	ベルー		ポリビア		パラグアイ		ブラジル		アルゼンチン	計	
		A	A	B	A	B	A	B	A	人数	百分比	
生活設計の有無	考えた	46	12	30	8	37	45	22	8	208	521	
	内 訳	移住前	8	9	15	4	31	18	10	1	96	(462)
		移住後	38	3	15	4	6	27	12	7	112	(538)
	考えたことがない	29	10	23	12	19	66	22	10	191	479	
	未記入	14	1	6	12	5	20	5	5	68	—	
	計	89	23	59	32	61	131	49	23	467	100	
考えた年代	20才代	4	3	6	1	1	9	2	2	28	147	
	30才代	8	2	3	2	7	6	1	1	30	158	
	40才代	3	2	8	2	19	16	5	2	57	300	
	50才代	21	5	13	3	9	11	11	2	75	395	
	未記入	10	—	—	—	1	3	3	1	18	—	
	計	46	12	30	8	37	45	22	8	208	100	
具 体 的 計 画	持たなかった	12	2	9	1	4	7	7	2	44	260	
	持った	30	9	11	7	28	21	13	6	125	740	
	内 訳	生活安定	6	—	6	—	19	4	—	1	36	(288)
		農業経営	—	—	—	—	5	2	6	—	13	(104)
		果樹園経営	—	—	1	—	—	—	—	—	1	(08)
		酪農計画	—	1	—	—	—	—	—	—	1	(08)
		独立	3	—	—	—	—	3	—	1	7	(56)
		不明	21	8	4	7	4	12	7	4	67	(536)
	未記入	4	1	10	—	5	17	2	—	39	—	
計	46	12	30	8	37	45	22	8	208	100		
生活設計	大体実現したと思う	18	4	12	4	17	29	8	4	96	632	
	実現したと思わない	12	5	7	4	8	12	6	2	56	368	
	未記入	16	3	11	—	12	4	8	2	56	—	
	計	46	12	30	8	37	45	22	8	208	100	

注. 内訳カッコ内合計=100%

図表 1 9 老後の生活設計（各国合計）



2. 充実感と見通し

(1) これまでの充実感

今日まで生き抜いてきて、老境にある生活のなかで、その人生を振り返り、充実していたと答えられる人は、現在の生活がどうであるかは別として、大きなほこりを持っているものと考えられる。また、充実していなかったとする人にも自省を通して老後生活へのより確かな歩みを持つことは可能と思われる。

第75表・図表20はその充実感をまとめたものである。そこに示してある数値を各国合計でさらにわかりやすくまとめると次のようになる。

充実していたと答えたもの 55.8%
 （充実していた26.0%+まあ充実していた29.8%）

充実していなかったと答えたもの 18.8%
 （充実していなかった11.0%+まあ充実していなかった7.8%）

どちらとも言えない、わからない 25.4%

どちらとも言えない、わからないは別として、充実していたもの55.8%が、充実していな

かったもの18.8%をかなり大きく上廻っていることは、解析者にとっても救いである。

(2) これからの見通し

充実感も生活上の支えとなるが、これからの見通しもきわめてたいせつな生活上の要素となる。これをわかりやすくまとめてみよう。

明るい見通しと答えたもの 66.3%
(明るい見通し41.1%+まあ明るい見通し25.2%)

暗い見通しと答えたもの 5.3%
(暗い見通し1.4%+まあ暗い見通し3.9%)

どちらとも言えない、わからない 28.4%

どちらとも言えない、わからないは別として、明るい見通し66.3%は暗い見通し5.3%に圧倒的な上廻りをみせている。このことは喜ばしいことではあるが、暗い見通しが少率であつても、日系社会の生活共同体の体質から考え、なんらかの協力手段を打ち出したものである。

(3) 現在の満足感

ここでも数値をわかりやすくまとめてみよう。

満足と答えたもの 87.3%
(十分満足44.9%+やや満足42.4%)

不満と答えたもの 9.3%
(全く不満1.8%+やや不満7.5%)

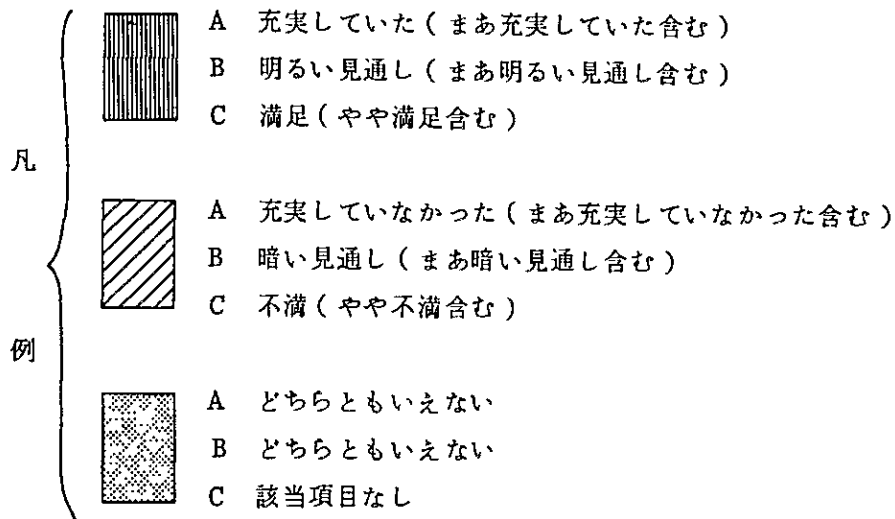
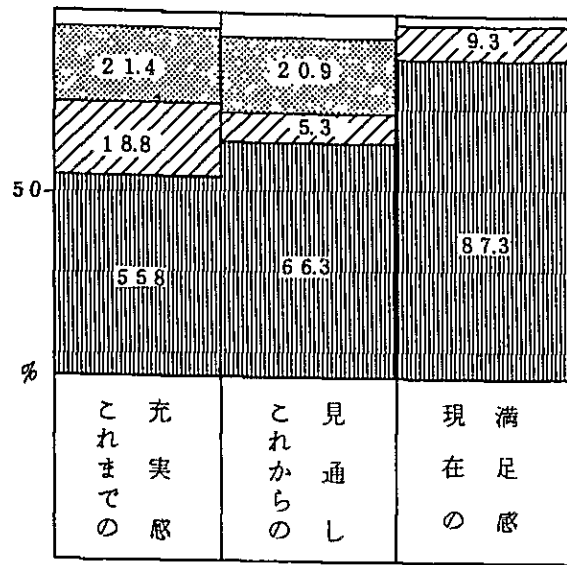
わからないと答えたもの 3.4%

充実している→明るい見通し→現在の満足感へと増率を見せ、満足と答えたものが87.3%を占めていることはまことに喜ばしい傾向と言えよう。いろいろな個人的経過をのりこえて、日系老人がおよそ現在に満足感で定着をみせていることは喜ばしいとしても、10%弱ながら不満と答えたものの存在を忘れてはなるまい。

第75表 人生の充実感と見通し

充実感	地域区分	ベルー		ポリビア		パラグアイ		ブラジル		アルゼンチン	計	
		A	A	B	A	B	A	B	A	人数	百分比	
これまでの充実感	充実していた	24	4	19	4	10	33	10	5	109	26.0	
	まあ充実していた	27	8	18	6	20	33	10	3	125	29.8	
	どちらともいえない	14	3	4	10	12	26	16	5	90	21.4	
	まあ充実していなかった	3	5	4	1	5	8	6	1	33	7.8	
	充実していなかった	6	3	7	6	9	14	—	1	46	11.0	
	わからない	1	—	5	2	2	4	1	2	17	4.0	
	未記入	14	—	2	3	3	13	6	6	47	—	
	計	89	23	59	32	61	131	49	23	467	100	
これからの見通し	明るい見通し	37	10	32	5	14	60	14	7	179	41.1	
	まあ明るい見通し	21	8	13	11	10	33	9	5	110	25.2	
	どちらともいえない	14	4	6	8	19	21	15	4	91	20.9	
	まあ暗い見通し	1	—	3	1	7	4	1	—	17	3.9	
	暗い見通し	1	—	—	—	1	1	1	2	6	1.4	
	わからない	12	1	3	4	4	4	3	2	33	7.5	
	未記入	3	—	2	3	6	8	6	3	31	—	
	計	89	23	59	32	61	131	49	23	467	100	
現在の満足感	十分満足	41	7	24	10	19	72	16	8	197	44.9	
	やや満足	37	14	24	15	24	44	20	8	186	42.4	
	やや不満	2	2	5	3	8	5	7	1	33	7.5	
	全く不満	—	—	1	1	5	1	—	—	8	1.8	
	わからない	5	—	3	1	1	1	2	2	15	3.4	
	未記入	4	—	2	2	4	8	4	4	28	—	
	計	89	23	59	32	61	131	49	23	467	100	

図表 20 人生の充実感と見通し (各国合計)



3. 老後の生活責任

老後の生活責任はだれが負うべきものか。このことについて日本国憲法は第3章国民の権利及び義務で明快な方向づけをしている。たとえば第11条で国民の基本的な権利を保障し、第12条で、国民に保障する自由と権利は、国民の不断の努力によって保持すべきであるとしている。

さらに第25条で国の努力目標を規定している。

こうしてみると、老後の生活を維持する責任は、第一次的には国民一人ひとりが負うべきもので、その結果としてなお不適切な生活手段、または健康で文化的な最低限度の生活水準を維

持するために個人では補充しえない場合に、第二次手段として国がこれを補完する仕組み、これを社会国家の理念とするという法精神から、老後の生活責任の所在がはっきりする。

この考え方を基本に置き現実に日系老人が抱えている生活責任の意義を解析してみよう。第76表・図表21。なお理解を深めるため、日本老人の場合との比較を次に記しておく。

	日系老人	日 本
自分（夫婦）の責任	44.5%	29.0%
子ども（家族）の責任	39.0	39.0
国（社会全体）の責任	5.1	12.0
一概にいない	11.4	20.0

注) 日本資料は、内閣総理大臣官房広報室、昭和44年「老後の生活に関する世論調査」（対象60才以上）

この二つの資料から、日系老人特有の考え方が二つ発見される。自分（夫婦）の責任44.5%各国合計はおよそ全体の1/2に接近する数値で、子ども（家族）の責任39.0%を上廻る。そしてこれは日本老人の場合、子ども（家族）の責任を10%も下廻っている。日系老人の多くは自分の意志により移住したとする責任観念が、旺盛な自助独行の精神を高め、老後生活についても責任感を強く持つということが推察されるのである。南米の日系社会に明治が残っていると、日系社会のんびりとは強く思い込んでいるが、これは日本のむかしながらの家族制度が残っているという意味と受けとめられる。しかしこの数値から推察されることは、家族員を束縛する戸長権、長老の絶対的強力な発言権が残幸として残されているということも若干あるかもしれないが、このことよりも今日に展開している生活上の責任をわが身に課している老人が多いということである。この点は日本老人より15%強も上廻っている。

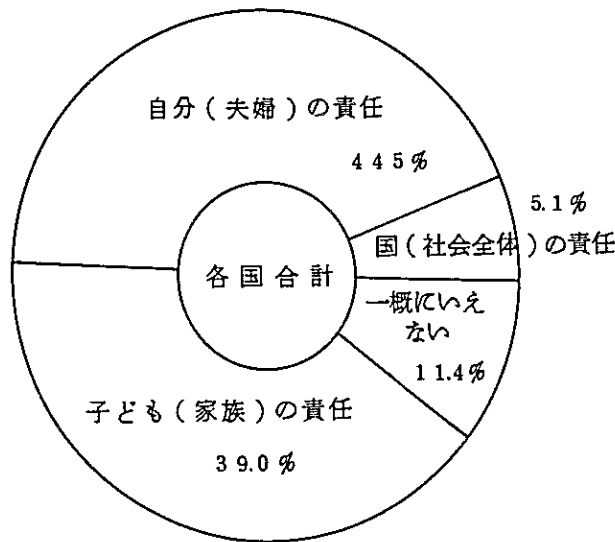
もう一つの発見は、国（社会全体）の責任5.1%が日本の12.0%をその1/2ほど下廻っているということである。国がその授益的活動を通じて、国民の福祉を積極的に向上させることはもとより望ましいが、日系社会の要求度はきわめて低い。この場合、設問で挙げた国とは、日本国を指し、社会全体とは日系社会を中心とする生活共同体を意味している。ただし調査対象のうちの日本国籍保有者でないもの（わずか4.1%）については、現地当該国をも含むものとしている。

ここで参考までにパラグアイ、アスンシオン市のIさん（男、71歳）の述懐の一端を紹介しておこう。この人は移住歴41年、妻に先立たれている。「自分としては日本政府に期待していない。頼っても仕方がないので自分でできる限りの努力をしてきた。これからもそうだ」「老人ホームに入所する必要があると思われる孤独の老人自身に、他人から世話になることを

恥とする気風が残っていて、みずから救護を求めない。そこでそういう孤老には周囲の日系人が然るべき手を打ってやらねばならない。「この国の人々の生活レベルは低い。日系移住者も苦しい時代が続いた。だからパラグアイ国民と日系人との間に親和感があった。しかし日系社会がこの国の生活水準をこえるようになると反感を受けることになる。これに日本政府が福祉の手を伸ばそうとしても、その国の主権や国民感情を考慮に入れて掛かる必要がある。」

以上この三つの話の中に、第76表各項目の数値を裏付けるものがあるようである。

図表21 老後の生活責任



第76表 老後の生活責任

責任	国名	ペルー		ボリビア		パラグアイ		ブラジル		アルゼンチン	計	
	地域区分	A	A	B	A	B	A	B	A	人数	百分比	
自分（夫婦）の責任		42	10	13	12	7	72	25	19	200	44.5	
子ども（家族）の責任		31	7	31	9	44	38	15	—	175	39.0	
国（社会全体）の責任		1	3	1	1	3	9	3	2	23	5.1	
一概にいけない		12	3	7	9	3	11	6	—	51	11.4	
未記入		3	—	7	1	4	1	—	2	18	—	
計		89	23	59	32	61	131	49	23	467	100	

4. 日本で老後を過ごす意識

日本に帰って老後を過ごそうと念願する者は各国合計では14.8%を占め、ほとんどがそれを希望しないと答えている(第77表)希望する者に実現性を聞いてみると、実現性がある20.0%で、ない55.4%(ほとんどない38.5%+全くない16.9%)よりはるかに低率となっている。帰国を念願しても絶望を自覚している者がきわめて多いということになる。

第77表 日本に帰り老後を過ごす意志

帰国意志 地域区分		ペルー		ポリビア		パラグアイ		ブラジル		アルゼンチン	計	
		A	A	B	A	B	A	B	A	人数	百分比	
そうしたい		17	5	7	8	14	6	6	2	65	14.8	
実現性	ある	3	2	3	—	2	1	1	1	13	(20.0)	
	ほとんどない	4	3	2	3	6	4	2	1	25	(38.5)	
	全くない	3	—	1	2	3	—	2	—	11	(16.9)	
	不明	7	—	1	3	3	1	1	—	16	(24.6)	
希望しない		68	17	50	21	41	120	38	19	374	85.2	
未記入		4	1	2	3	6	5	5	2	28	—	
計		89	23	59	32	61	131	49	23	467	100	

注. カッコ内合計=100%

5. 老後生活の希望

(1) 調査対象の全体像

日系老人の生活実態をいろいろな角度から物質面、精神面にわたって見てきた。その結果をもとに、調査対象者の全体像を抽象的に表現するならば、日系老人の大部分が移住地に持ちこんだ日本の生活姿勢を維持する努力をしている。あるいは日本人的感觉から脱けきれないままにいるなどということになるのではなかろうか。

そしてその壁となるものに、主なものとして

- ① 時勢の流れ
- ② 三世の台頭
- ③ 望む生活と移住政策とのずれが考えられる。

(2) 老後生活の希望

第78表～第86表・図22は、前記の調査対象全体像を表徴する老後生活の希望をまとめたものである。まず日本老人との比較を試みよう。

	日系老人	日 本
経済生活面のこと	17.9%	28.7%
健康生活面のこと	22.1	34.6
福祉施策面のこと	5.4	—
生きがい上のこと	54.6	36.7

(注1) 日系老人は第78表各国合計

(注2) 日本資料は前記昭和44年内閣総理大臣官房広報室老後の生活に関する世論調査のうち、「老後の幸福の条件」を抄訳

老後生活の希望と日本資料の老後の幸福の条件を比較することは設問段階の相違点の関係で若干の無理はあるが、適当な資料が見当たらないため、この二つを併記してみた。そこで、日本資料の項目を補足して説明しておく必要がある。経済生活面の内訳は経済的な面で不安がない19.0%、子どもが独立して立派に生活できる6.3%、住生活に不安がない3.4%。健康生活面は自分のからだ健康である34.6%。生きがい上は、子どもたちがよく面倒をみてくれる13.7%、家族のものが自分をたいせつにしてくれる11.2%、自分の好きなことができる4.4%、信心する2.9%、社会奉仕をつづけることができる1.0%、その他3.5%となっている。なおこの場合、日系老人のような福祉施策面のことが出されていないが、これは設問の関係によるものである。

さて、双方を比較して社会保障、福祉施策の発達している日本で、経済生活面での割合が日系老人より多いということに気がつくであろう。これと同じことが健康面でも言える。そして生きがい上のことでは日本老人より日系老人に高率であらわれているところに、日系老人の特徴が見られる。

日系老人の場合、希望項目は多方面にわたっているので細部は各数表で了解してもらうこととして、図表22から各国合計のベスト10を眺めてみよう。

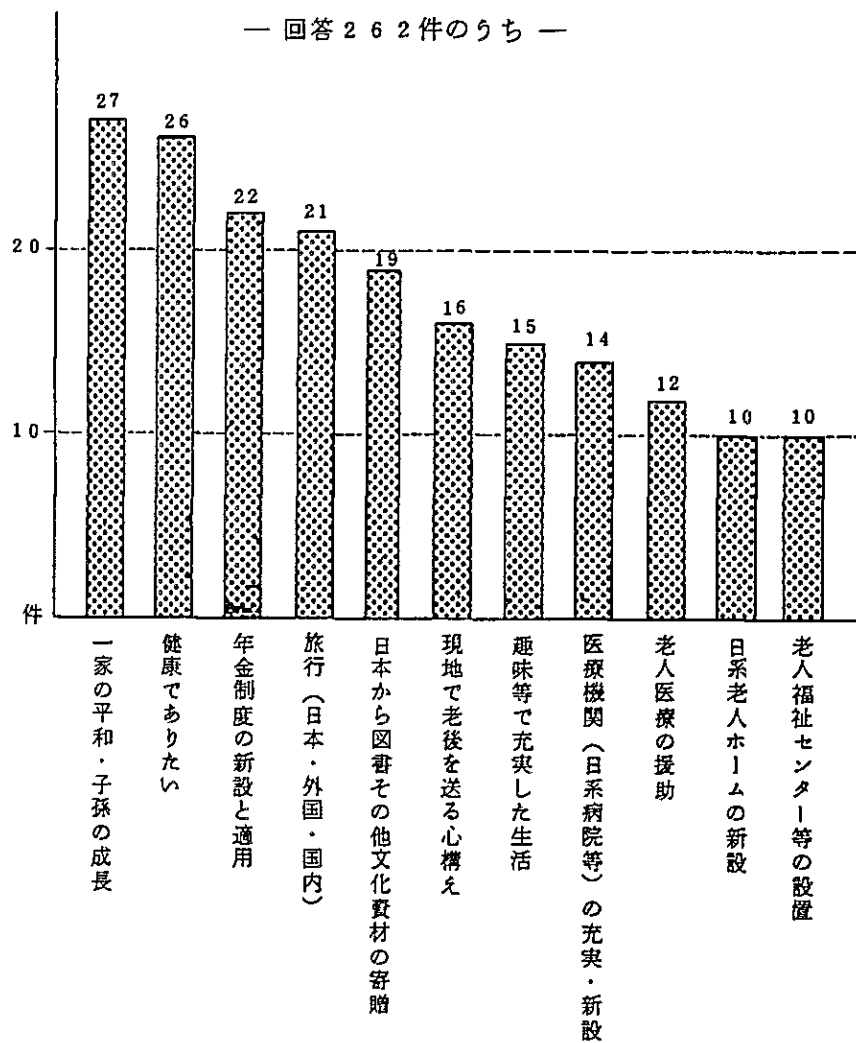
その順位は重複回答262件のうち

① 一家の平和・子孫の成長	27件
② 健康でありたい	26件
③ 年金制度の新設と適用	22件
④ 旅行(日本・外国・国内)	21件

- ⑤ 日本から図書その他文化資材の寄贈 19件
- ⑥ 現地で老後を送る心構え 16件
- ⑦ 趣味等で充実した生活 15件
- ⑧ 医療機関（日系病院等）の充実・新設 14件
- ⑨ 老人医療の援助 12件
- ⑩ 日系老人ホームの新設 10件
- ⑪ 老人福祉センター等の設置 10件

であって、この他を含めいずれも切実なものである。

図表22 老後生活の希望ベスト10（各国合計）



第78表 老後生活の希望1 (各国合計)

希 望	ペルー	ボリビア		パラグアイ		ブラジル		アルゼンチン	計	
	A	A	B	A	B	A	B	A	人 数	百分比
経 済 生 活	(10)	(2)	(10)	(1)	(12)	(9)	(2)	(1)	(47)	(17.9)
年金制度の新設と適用	7	1	6	1	1	6	—	—	22	—
生活資金の援助	—	—	—	—	2	—	—	—	2	—
事業資金の援助	—	—	—	—	3	—	—	—	3	—
母国訪問資金の積立てと援助	—	—	—	—	3	—	—	—	3	—
慰安金(敬老金)の支給	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—
仕事の維持・継続・拡張	1	1	2	—	—	—	1	—	5	—
住環境の整備	1	—	1	—	—	—	—	1	3	—
自由になる小遣い	—	—	1	—	3	3	—	—	7	—
老後生活の資金貯蓄	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—
健 康 生 活	(11)	(—)	(5)	(1)	(20)	(15)	(2)	(4)	(58)	(22.1)
健康保険制度が必要	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—
老人医療の援助	—	—	1	—	7	2	2	—	12	—
医療機関(日系病院等)の充実・新設	—	—	—	1	10	2	—	1	14	—
健康でありたい	6	—	4	—	2	11	—	3	26	—
そ の 他	4	—	—	—	1	—	—	—	5	—
福 祉 施 設	(4)	(1)	(2)	(1)	(2)	(2)	(2)	(—)	(14)	(5.4)
日系老人ホームの新設	4	—	1	1	1	2	1	—	10	—
日本国政府による老人福祉の援助	—	1	1	—	1	—	1	—	4	—
生きがいⅠ(自分のこと)	(20)	(4)	(10)	(4)	(9)	(19)	(—)	(6)	(72)	(27.5)
旅行(日本・外国・国内)	4	—	1	2	8	4	—	2	21	—
趣味等で充実した生活	3	1	3	1	—	6	—	1	15	—
社会奉仕	6	—	—	—	—	2	—	1	9	—
老人クラブの結成・活動の充実	2	—	—	—	1	3	—	—	6	—
帰国希望(日本で老後を送る)	2	1	1	—	—	—	—	—	4	—
現地で老後を送る心構え	2	2	5	1	—	4	—	2	16	—
そ の 他	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—
生きがいⅡ(家族のこと)	(9)	(2)	(4)	(3)	(1)	(13)	(1)	(—)	(33)	(12.6)
一家の平和・子孫の成長	8	2	4	—	—	12	1	—	27	—
そ の 他	1	—	—	3	1	1	—	—	6	—
生きがいⅢ(地域社会)	(3)	(—)	(—)	(1)	(—)	(4)	(1)	(—)	(9)	(3.4)
日系共同墓地の必要性	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—
近隣との交流	3	—	—	—	—	1	—	—	4	—
老人クラブへ日本政府の助成	—	—	—	—	—	3	1	—	4	—
生きがいⅣ(文化資源)	(3)	(2)	(4)	(1)	(14)	(4)	(1)	(—)	(29)	(11.1)
老人福祉センター等の設置	3	1	—	1	5	—	—	—	10	—
日本から図書その他文化資材の寄贈	—	1	4	—	9	4	1	—	19	—
計	60	11	35	12	58	66	9	11	262	100

注1. 未記入を含まず。

注2. 重複回答とする。

第79表 老後生活の希望2 (ペルー国A地域)

希 望	年 令 群					計	
	80才以上	79~75	74~70	69~65	64~60	人 数	百分比
経 済 生 活	(2)	(1)	(4)	(1)	(2)	(10)	(16.7)
老令年国が欲しい	—	1	2	1	2	6	—
日本のような年金制度をのぞむ	1	—	—	—	—	1	—
仕事を続けたい	—	—	1	—	—	1	—
財産の一部を自分の老後に充てる	—	—	1	—	—	1	—
自分の家が欲しい	1	—	—	—	—	1	—
健 康 生 活	(—)	(3)	(3)	(4)	(1)	(11)	(18.3)
健康保険の制度が必要	—	—	—	1	—	1	—
健康で長生きしたい	—	—	2	1	1	4	—
長生きしたいが子供に迷惑かけたくない	—	1	—	—	—	1	—
健康の回復をのぞむ	—	2	—	—	—	2	—
からだが不自由になったら付添人を雇う	—	—	—	1	—	1	—
永年病気のため早く死にたい	—	—	—	1	—	1	—
迷惑かけてまで長生きしたくない	—	—	1	—	—	1	—
福 祉 施 策	(1)	(1)	(1)	(1)	(—)	(4)	(6.6)
老人ホームを作ってもらいたい	—	1	1	—	—	2	—
日本政府による日本式老人ホームを望む	1	—	—	1	—	2	—
生きがいⅠ(自分のこと)	(3)	(2)	(8)	(6)	(1)	(20)	(33.3)
旅行をたのしみたい	1	—	—	2	—	3	—
趣味などをたのしみたい	—	1	1	1	—	3	—
社会奉仕など地域社会に尽したい	1	1	2	2	—	6	—
死も不安, 生きるも不安だ	1	—	—	—	—	1	—
恵まれて感謝の生活を送っている	—	—	1	—	1	2	—
墓参のため一時帰国したい	—	—	1	—	—	1	—
日本で老後を過ごしたい	—	—	1	1	—	2	—
老人クラブ運動を広めたい	—	—	1	—	—	1	—
老人クラブがほしい	—	—	1	—	—	1	—
生きがいⅡ(家族のこと)	(—)	(1)	(2)	(5)	(1)	(9)	(15.1)
子供がなく老後が不安	—	1	—	—	—	1	—
妻がいつまでも丈夫でいてほしい	—	—	1	—	—	1	—
一家仲良く暮らしたい	—	—	—	3	—	3	—
子供の成長がたのしみ	—	—	—	1	1	2	—
子供の家庭を訪問する	—	—	—	1	—	1	—
米国の子供の所へ移住したい	—	—	1	—	—	1	—
生きがいⅢ(地域社会)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(3)	(5.0)
近隣と仲良くしたい	—	—	—	3	—	3	—
生きがいⅣ(文化資源)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(3)	(5.0)
老人センターがほしい	1	2	—	—	—	3	—
計	7	10	18	20	5	60	100

第80表 老後生活の希望3（ボリビア国A地域）

希 望	年 令 群					計	
	80才以上	79～75	74～70	69～65	64～60	人 数	百分比
経 済 生 活	(-)	(1)	(-)	(1)	(-)	(2)	(18.2)
日本国政府による養老年金の援助	-	1	-	-	-	1	-
健康な限り働き、子供を大学卒業させたい	-	-	-	1	-	1	-
福 祉 施 策	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(1)	(9.1)
日本国政府の援助を希望	-	-	-	-	1	1	-
生きがいⅠ（自分のこと）	(-)	(-)	(1)	(2)	(1)	(4)	(36.3)
悠々自適の生活を送る	-	-	-	-	1	1	-
静かに養魚をして暮したい	-	-	-	1	-	1	-
現地紹介のガイドブックを編集したい	-	-	1	-	-	1	-
ことばが通じにくいので可能ならば帰国したい	-	-	-	1	-	1	-
生きがいⅡ（家族のこと）	(-)	(-)	(1)	(-)	(1)	(2)	(18.2)
子や孫と仲良く暮らしたい	-	-	-	-	1	1	-
日本の子供と行ったり来たりしたい	-	-	1	-	-	1	-
生きがいⅢ（文化資源）	(-)	(1)	(-)	(-)	(1)	(2)	(18.2)
老人専用の娯楽施設が欲しい	-	-	-	-	1	1	-
日本国政府から娯楽面の援助を望む	-	1	-	-	-	1	-
計	-	2	2	3	4	11	100

第81表 老後生活の希望4（ボリビア国B地域）

希 望	年 令 群					計	
	80才以上	79～75	74～70	69～65	64～60	人 数	百分比
経 済 生 活	(-)	(1)	(1)	(3)	(5)	(10)	(28.6)
老人年金の適用を日本政府にのぞむ	-	1	1	-	4	6	-
養鶏業は老人にもできるので続けたい	-	-	-	1	-	1	-
土地を増やして機械業を大きくしたい	-	-	-	1	-	1	-
住居整備をしたいが経済的余裕がない	-	-	-	1	-	1	-
自分の小遣いぐらいは稼ぎたい	-	-	-	-	1	1	-
健 康 生 活	(1)	(-)	(1)	(1)	(2)	(5)	(14.3)
入院患者に援助をされたい	-	-	-	-	1	1	-
一生を健康で過ごしたい	1	-	1	1	1	4	-
福 祉 施 策	(-)	(-)	(-)	(1)	(1)	(2)	(5.7)
日本の老人ホームに入りたい	-	-	-	1	-	1	-
なんらかの形で日本政府の援助をのぞむ	-	-	-	-	1	1	-
生きがいⅠ（自分のこと）	(-)	(3)	(1)	(1)	(5)	(10)	(28.6)
社会を勉強し、社会人として生きたい	-	-	1	-	-	1	-
趣味をたのしみたい	-	2	-	-	1	3	-
生活の充実をはかり人の迷惑をかけない	-	-	-	-	1	1	-
安楽な生活を続けたい	-	-	-	-	2	2	-
日本に帰って老後を送りたい	-	-	-	-	1	1	-
日本に旅行したい	-	-	-	1	-	1	-
先のことは考えないことにしている	-	1	-	-	-	1	-
生きがいⅡ（家族のこと）	(-)	(-)	(2)	(-)	(2)	(4)	(11.4)
妻と仲良く気楽に暮らしたい	-	-	1	-	-	1	-
子や孫との会話を多く持ちたい	-	-	-	-	1	1	-
子供のしあわせを見定めたい	-	-	-	-	1	1	-
子孫の繁栄を祈る	-	-	1	-	-	1	-
生きがいⅢ（文化資源）	(-)	(-)	(-)	(-)	(4)	(4)	(11.4)
日本の本が読みたい	-	-	-	-	1	1	-
日本の娯楽が欲しい	-	-	-	-	3	3	-
計	1	4	5	6	19	35	100

第82表 老後生活の希望5（パラグアイ国A地域）

希 望	年 令 群					計	
	80才以上	79～75	74～70	69～65	64～60	人 数	百分比
経 済 生 活	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(1)	(83)
日本から老人年金を受けたい	-	-	-	-	1	1	-
健 康 生 活	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)	(1)	(83)
医療機関が欲しい	-	1	-	-	-	1	-
福 祉 施 策	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(1)	(83)
日系老人ホームがあればよいと思う	-	-	-	-	1	1	-
生きがいⅠ（自分のこと）	(-)	(4)	(-)	(-)	(-)	(4)	(333)
悠々自適の老後生活をしたい	-	1	-	-	-	1	-
趣味をたのしみたい	-	1	-	-	-	1	-
日本への旅行をしたい	-	1	-	-	-	1	-
帰国して碁の指導を受けたい	-	1	-	-	-	1	-
生きがいⅡ（家族のこと）	(-)	(-)	(1)	(-)	(2)	(3)	(250)
娘が婚期を失くし心残り	-	-	-	-	1	1	-
弱ったら子供に面倒を見てもらいたい	-	-	1	-	1	2	-
生きがいⅢ（地域社会）	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(1)	(83)
日系人共同墓地を作ってもらいたい	-	-	-	-	1	1	-
生きがいⅣ（文化資源）	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)	(1)	(83)
老人向き施設が欲しい	-	-	-	1	-	1	-
計	-	5	1	1	5	12	100

第83表 老後生活の希望6 (パラグアイ国B地域)

希 望	年 令 群					計	
	80才以上	79~75	74~70	69~65	64~60	人 類	百分比
経 済 生 活	(-)	(-)	(1)	(7)	(4)	(12)	(20.7)
老齢年金の支給をのぞむ	-	-	-	-	1	1	-
母国訪問資金の積立制度が必要	-	-	-	1	-	1	-
母国訪問資金の事業団援助をのぞむ	-	-	-	1	1	2	-
生活費の補助を求めたい	-	-	-	2	-	2	-
管農資金の援助を求めたい	-	-	-	1	-	1	-
拓殖基金の拡大をして欲しい	-	-	-	-	2	2	-
小遣いが欲しい	-	-	1	2	-	3	-
健 康 生 活	(4)	(1)	(7)	(6)	(2)	(20)	(34.5)
日本語を理解できる医師が必要	1	-	3	2	-	6	-
医療施設の充実をのぞむ	1	1	2	-	-	4	-
老人医療費の助成・半額・無料化など	1	-	1	4	1	7	-
海藻類など日本の健康食品を入手したい	1	-	-	-	-	1	-
いつまでも健康でありたい	-	-	1	-	1	2	-
福 祉 施 策	(-)	(1)	(-)	(1)	(-)	(2)	(3.5)
老人ホームを作ってほしい	-	-	-	1	-	1	-
老人福祉の援助をねがいたい	-	1	-	-	-	1	-
生 き が い I (自分のこと)	(1)	(1)	(-)	(3)	(4)	(9)	(15.5)
旅行をたのしみたい	-	-	-	1	-	1	-
母国へ里帰りしたい	1	1	-	1	4	7	-
老人クラブを結成したい	-	-	-	1	-	1	-
生 き が い II (家族のこと)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)	(1)	(1.7)
二世に日本語を普及させたい	-	-	-	1	-	1	-
生 き が い III (文化資源)	(-)	(1)	(3)	(5)	(5)	(14)	(24.1)
日本人向きの趣味娯楽が欲しい	-	1	3	1	4	9	-
老人福祉センター(いこいの場)が欲しい	-	-	-	4	1	5	-
計	5	4	11	23	15	58	100

第84表 老後生活の希望7 (ブラジル国A地域)

希 望	年 令 群					計	
	80才以上	79~75	74~70	69~65	64~60	人 数	百分比
経 済 生 活	(1)	(3)	(1)	(2)	(2)	(9)	(13.6)
日本からの老令年金を受けたい	—	1	1	1	1	4	—
養老年金を確立してほしい	1	—	—	—	1	2	—
小遣いに不自由のない生活をしたい	—	2	—	1	—	3	—
健 康 生 活	(1)	(1)	(7)	(2)	(4)	(15)	(22.7)
健康診断を年に数回希望する	—	—	1	—	—	1	—
無料診療・無料入院できること	—	—	—	1	—	1	—
日系病院を作してほしい	1	—	1	—	—	2	—
健康で過ごしたい	—	1	5	1	4	11	—
福 祉 施 策	(—)	(2)	(—)	(—)	(—)	(2)	(3.0)
老人ホームを作ってもらいたい	—	2	—	—	—	2	—
生きがいI (自分のこと)	(1)	(4)	(10)	(—)	(4)	(19)	(28.8)
日本へ旅行したい	—	1	1	—	—	2	—
旅行をしたい	—	—	2	—	—	2	—
趣味に合った生活がよい	—	1	3	—	2	6	—
若者への理解を強める	—	—	1	—	—	1	—
楽しく暮らす心構えをもつ	1	—	1	—	1	3	—
社会奉仕をしたい	—	2	—	—	—	2	—
老人クラブを充実させたい	—	—	2	—	1	3	—
生きがいII (家族のこと)	(2)	(5)	(5)	(1)	(—)	(13)	(19.7)
一家仲良く暮らしたい	1	4	4	1	—	10	—
子供の成長がたのしみだ	1	1	—	—	—	2	—
子供の世話にならない自由な生活を	—	—	1	—	—	1	—
生きがいIII (地域社会)	(—)	(1)	(1)	(1)	(1)	(4)	(6.1)
日本語で話し合える茶のみ友達がほしい	—	—	1	—	—	1	—
老人クラブに日本政府の援助	—	1	—	1	1	3	—
生きがい (文化資源)	(—)	(1)	(1)	(1)	(1)	(4)	(6.1)
日本から図書の寄贈をのぞむ	—	1	1	1	1	4	—
計	5	17	25	7	12	66	100

第85表 老後生活の希望8（ブラジル国B地域）

希 望	年 令 群					計	
	80才以上	79~75	74~70	69~65	64~60	人 数	百分比
経 済 生 活	(-)	(1)	(1)	(-)	(-)	(2)	(22.2)
老人といえどもがんばって仕事をする	-	-	1	-	-	1	-
老人週間に慰安金の支給をのぞむ	-	1	-	-	-	1	-
健 康 生 活	(-)	(1)	(-)	(1)	(-)	(2)	(22.2)
老人週間に健康診断をしてほしい	-	1	-	-	-	1	-
定期検診を無料または実費とされたい	-	-	-	1	-	1	-
福 祉 施 策	(-)	(1)	(-)	(-)	(1)	(2)	(22.2)
老人福祉を日本老人に準じて欲しい	-	1	-	-	-	1	-
日本的老人収容施設を希望	-	-	-	-	1	1	-
生きがいⅠ（家族のこと）	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)	(1)	(11.1)
子や孫と仲良く暮らしたい	-	1	-	-	-	1	-
生きがいⅡ（地域社会）	(-)	(-)	(1)	(-)	(-)	(1)	(11.1)
老人クラブの日本からの助成金を要望	-	-	1	-	-	1	-
生きがいⅢ（文化資源）	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)	(1)	(11.1)
老人クラブに印刷機、古本、ビデオ等の寄贈を要望	-	-	-	1	-	1	-
計	-	4	2	2	1	9	100

第86表 老後生活の希望9（アルゼンチン国A地域）

希 望	年 令 群					計	
	80才以上	79~75	74~70	69~65	64~60	人 数	百分比
経 済 生 活	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)	(1)	(9.1)
環境の整った部屋がほしい	-	-	-	1	-	1	-
健 康 生 活	(-)	(-)	(2)	(2)	(-)	(4)	(36.4)
日系総合病院の建設をのぞむ	-	-	1	-	-	1	-
健康でありたい	-	-	1	2	-	3	-
生きがいⅠ（自分のこと）	(-)	(-)	(2)	(4)	(-)	(6)	(54.5)
日本へ旅行したい	-	-	1	-	-	1	-
外国旅行をしたい	-	-	-	1	-	1	-
日本と自由に通信したい（無線機）	-	-	-	1	-	1	-
趣味を生かした生活がよい	-	-	-	1	-	1	-
生活は非常にたのしい	-	-	1	-	-	1	-
社会奉仕をしたい	-	-	-	1	-	1	-
計	-	-	4	7	-	11	100

あ と が き

1. 調査対象者の皆さんと現地関係者各位の絶大なご協力を得て、はるばる空を運ばれてきた回答資料を前にした時、一日も早く報告書にまとめねばならないと心に誓いはしたものの、うず高く積み上げられた膨大な資料にはずかしながら一度はそれに挑戦する意欲をなくした。
しかし全面的に集計を引き受けてくれた国際協力事業団移住海外事業部生活環境課職員諸氏の満々たる闘志に勇気づけられ、漸く調査期より8ヵ月目に脱稿することを得た。
2. 報告した数値はいずれも日系老人の血と汗からにじみ出ているものと確信する。関係当局ならびに関係者においてこのことをよく理解され、その対応に一段の努力を尽されるよう要望したい。
3. 数値の判断、情勢の分析等で独断にわたる個所があるとすれば、すべて解析者の浅学に起因するものであることを附記し、責任の所在を明らかにしておく。(村田松男)

附属資料

昭和54年度日系老人生活実態調査票

(昭和54年9月現在)

国際協力事業団

国 州 市町村 調査員名

性	男	女	生年月	明治 大正	年	月	日本国籍 の有無	有 無()	出身県	県(市)
移住年月	明治 大正	年	月	移住時の 家族構成	1.独身 2.有配偶 3.有配偶・子供(人) 4.その他()					
現在の配偶 者の有無	有	無	世帯主か 否	然	否	生計中心者 か	否	然	否	
本人に属す 収入源	1.無 有(2.就労 3.年金 4.その他())						収入総額	月額()		
移住 理解 状況 の 語 の 状 況	読む力	1.よく読める 2.まあ読める 3.ほとんど読めない 4.まったく読めない								
	書く力	1.よく書かる 2.まあ書ける 3.ほとんど書けない 4.まったく書けない								
	話す力	1.よく話せる 2.まあ話せる 3.ほとんど話せない 4.まったく話せない								
日本の親族の有無	無	有()	有の場合の 文通頻度	1.3ヵ月1回 3.その他()			2.年1~2回			
世帯構造	1.単独世帯 2.夫婦のみの世帯 3.夫婦と未婚の子のみの世帯 4.片親と未婚の子のみの世帯 5.三世帯世帯 6.その他の世帯									
世帯業態	1.農業世帯 2.自営業世帯 3.常用勤労者世帯 4.日雇労働者世帯 5.その他の世帯									
世帯人員	人		有業人員	人		世帯総 収入額	月額			
住居の所有状況	1.持家 2.公営住宅 3.2以外の借家 4.借間 5.その他									
家賃(地代)月額	家賃		居室数	室	畳数	畳				
	地代									
	計									
電話の有無	有	無	老人専用 室の有無	有	無	転居希望 の有無	1.有 2.無			
居室の状況	1.狭すぎる 2.日当りなどが悪い 3.騒音などがひどい 4.その他() 5.悪いところなし									
老朽状況	1.大修理を要する 2.修理を要する 3.修理の要なし									

〔健康状況〕

問 1. 近頃からだの具合はいかがですか。

1. よい 2. 普通 3. よくない

問 2. 日常生活の動作についておたずねします。

歩 行	1. 自分で自由にできる	2 自分でできるが若干困難	3 他人の介護必要
食 事	1. #	2 #	3. #
着 脱 衣	1. #	2. #	3 #
入 浴	1. #	2. #	3 #
用 便	1. #	2 #	3 #
視 力	1. 新聞の字がよめる	2. 新聞の字がよみづらい	3 新聞の字がよめない
聴 力	1. きこえる	2 ききづらい	3 きこえない
そしゃく力	1. かめる	2. かみづらい	3 かめない

(補 1) 問 2. の 3. に一つでも○印の場合、介護者はいますか。主な介護者は誰ですか。

1. 配偶者 2 嫁 3. 子供 4 隣人(日系人・非日系人)
5 お手伝い(有料一日系人か否か 無料一日系人か否か) 6 誰もいない 7 必要なし

問 3. 現在、病気はありますか。

1 ない ある(2. 脳卒中 3. 心臓病 4 糖尿病 5 高血圧 6 眼・耳の疾患
7. その他()

(補 1) 病気有の場合、どんな治療をしていますか。

1. 治療はしていない 2 通院 3 買薬 4 その他の治療()

(補 2) 通院の場合、何日位受診していますか。

1. 毎日 2. 週 2～3日 3. 週 1日 4 2週 1日 5. 月 1日 6 めったに行かない

問 4. 健康の保持増進のために何かしていますか。(2つまで)

1. 特に意識していない している(2. 散歩 3 体操・その他適当な運動
4. 栄養に気をつけている 5 睡眠に気をつけている 6. 心をゆったりと 7 その他

問 5. 食事は1日何回していますか。

1. 1日 3回 2. 1日 2回 3. その他()

(補 1) 1日に1食は、日本的食事をしていますか。

1. いいえ 2. はい(例)

問 6. 医療保険に加入していますか。

1. 加入している(月額保険料) 2 加入していない

〔就 労 状 況〕

問1 現在、収入のある仕事(前1週間)をしていますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(就業の場合)

職業の種類	1 農林漁業() 2 販売業 3.技能工・生産工程作業 4 運輸・通信業 5 保安・サービス業 2 専門的・技術的・管理的職業 7.その他()			
就業時間 (1週間)	1. 1～5時間未満 2. 5～14時間未満 3. 14～29時間未満 4. 29～34時間未満 5. 34～39時間未満 6. 39～44時間未満 7. 44時間以上			
自営・雇用の別	1 自営 { 従事者 本人・家族 人 使 用 人 計 人 }	2. 雇用 人	月収額	
勤務先の企業規模	1. 29人以下 2. 30～49人 3. 50～99人 4. 100～299人 5 その他()			
今の仕事の継続意志	1. 仕事をつづけたい 2. 仕事を変わりたい 3. 仕事をやめたい 4. わからない			
就労理由	1. 生計維持 2 生活をよくする 3. 小使い 4. 健康 5. たのしい 6 その他()			

(不就業の場合)

仕事をやめた年令	1 60才以下 2. 60～65才 3. 66才 4. 67才 5. 68才 6. 69才 7. 70才 8. 71才以上()					
仕事をやめた理由	1 病気・病弱 2 年をとりおっくうになった 3. 家庭理由 4. 定年 5. その他()					
職業の種類	1 農林漁業() 2 販売業 3. 技能工・生産工程作業 4. 運輸・通信業 5. 保安・サービス業 6. 専門的・技術的・管理的職業 7. その他()					
今後の就業の可能性及び希望状況	1. 就業できない 就業できる(2. 就業したい 3. 就業したくない 4. わからない)					
就業条件	就労理由	1. 生計維持 2 生活をよくする 3. 小使い 4. 健康 5. たのしい 6. その他()				
	1日平均労働日数	1 4時間未満 2 4～6時間未満 3. 6～8時間未満 4. 8時間以上				
	1月平均労働日数	1. 10日未満 2. 10～20日未満 3. 20日以上				
	1月平均月収額					
	希望職種	1. 仕事を始めたい() 2. 雇われたい() 3. その他()				
就業仲間希望	あらゆる年令の人と(1. 日系人 2. 非日系人 3. 双方)					
	老人だけで(4. 日系人 5. 非日系人 6. 双方) 7. どちらでも					

〔家庭生活状況〕

問1. お子さんはいられますか。

1. いる (人)	いない (2 未婚 3 子に恵まれなかった 4 死別)
5. その他 ()	

(同居者の場合)

同居先の子の状況	1. 息子夫婦 2. 娘夫婦 3. 未婚の子 4. その他	
同居の理由	1. 同居が自然 2. 夫婦(1人)だけでは淋しい 3. 身の回りの世話をしてもらえる 4. 経済的だから 5. 家や家業を守るため 6. 子が希望するから 7. 親子の愛情から 8. その他 ()	
家庭内での役割状況	1. 家業(手伝) 2. 孫の世話・しつけ 3. 庭の手入れ 4. その他の家事(手伝) 5. その他 ()	
家族からの相談状況	受ける (1. 財産問題 2. 家族の人間関係 3. 結婚問題 4. 孫のしつけ 5. その他 ()) 受けない (1. 何でも相談してほしい 2. 重要なことは相談をしてほしい 3. 相談してもらいたくない(あまり・何も))	
会話時の国語	子	1. 日本語 2. 当該国語 3. 双方
	嫁(日系人) 非日系人	1. " 2. " 3. "
	孫	1. " 2. " 3. "

(別居者の場合)

別居の理由	1. 子の職場が遠いから 2. 住宅がせまい 3. 子が別居を希望 4. 家族問題 5. 現在の土地から離れたくない 6. その他 ()
子との交流状況	1. 今日・昨日会った 2. 2～7日前に会った 3. 8日～1月以内前に会った 4. 1月～6月以内前に会った 5. 6月～1年以内前に会った 6. 1年以上会っていない
最も近くに住んでいる子との片道距離	1. 10分未満 2. 10～30分未満 3. 30分～1時間未満 4. 1時間以上

問2. 一般的に同居と別居ではどちらが良いと思いますか。

1. 同居が良い	2. 別居が良い	3. わからない
----------	----------	----------

問3. 自由な時間をどのようにすごしていられますか。(主なもの3つまで)

1.テレビ・ラジオ 2.新聞・読書・音楽などの趣味 3.園芸・手芸・生花などの趣味
4.碁・将棋などのゲーム 5.散歩・運動など 6.スポーツ見物 7.奉仕活動
8.子・隣人・知人などとの話し合い 9.その他() 10.特に何もしていない

問4. 近所の人との交際はどうか。

日系人	1.すすんで交際	2.あいさつ程度	3.全く交際していない
非日系人	1. #	#	3 #

問5. 友人・知人がいますか。

1.いない いる(2.日系人 3.非日系人)

問6. この地域に日本人会の組織がありますか。

1.ない ある(2.加入していない 加入している(3.会費(月))
(4.会合数)

問7. 自由に使える小使い銭はどの程度ですか。

1.ない ある(月額)

問8. 日頃淋しさを感じることはありませんか。

1.いつも感じる 2.ときどき感じる 3.めったに感じない

問9. 現在、「生きがい」とか、「生活のハリ」となっているものは何んですか。(2つまで)

1.家族(子・孫の成長など)のこと 2.趣味・娯楽 3.友人・隣人との交際 4.信仰
5.社会奉仕 6.仕事 7.その他() 8.特になし

問10. 現在、悩みとか、心配ごとがありますか。

1.経済 2.健康 3.身の廻りの世話 4.家族問題 5.住宅 6.その他()
7.特になし



それは具体的に
どういうことですか

問11. 現在、信仰をお持ちですか。

1.ない ある(2.キリスト教(新・旧) 3.仏教 4.神教 5.その他()

〔福祉制度の活用状況〕

問1. 老人ホームがあることを知っていますか。

1.知っている 2.知らない

(補1) 知っている人 → 入所したいと思いますか。

1.入所したくない 2入所したい 3わからない



その理由

(補2) 入所したい人に、どんな老人ホームに入りたいですか。

1.日系老人だけのホーム 2一般のホーム 3.どちらでも

問2 現在、政府(地方公共団体含む)から、何か援助を受けていますか。

1.受けていない 2受けている()

問3 今後、当該国から何んらかの援助を受けたいものがありますか。

1.特にない 2ある()

問4 現在まで、日系の団体から何か具体的に援助を受けたことがありますか。

1.ない 2ある()

問5 今後、日系団体に何か望むことはありますか。

1.特にない 2ある()

〔老後の生活設計〕

問1 若い時に、自己の老後生活のあり方について考えたことがありますか。

1.ある(移居前・移住後) 2.ない

(補1) ある人の場合、それは何才代でしたか、具体的な計画を持ちましたか。

年 代	1.20代 2.30代 3.40代 4.50代
具体的計画	1.持たなかった 2.持った()

(補2) 持った人の場合、それは大体実現したと思いますか。

1.思う 2.思わない

問2 あなたは、これまでの人生は充実していたと思いますか。

1.充実していた 2.どちらかといえば充実していた 3.どちらともいえない
4.どちらかといえば充実していなかった 5.充実していなかった 6.わからない

問3 あなたは、これからの人生の見通しは明るいと思いますか。

1.明るい見通し 2.どちらかといえば明るい見通し 3.どちらともいえない
4.どちらかといえば暗い見通し 5.暗い見通し 6.わからない

問4 現在の生活や境遇に満足していますか。

1.十分満足 2.やや満足 3.やや不満 4.全く不満 5.わからない

問5 老後の生活責任は、本来誰が負うべきだと思いますか。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1.自分（夫婦）の責任 | 2.子ども（家族）の責任 |
| 3.国（社会全体）の責任 | 4.一概にいけない |

問6 日本に帰って、老後生活を送りたいと思いますか。

- | | |
|------|--------|
| 1.思う | 2.思わない |
|------|--------|

（補1） 思うと答えた人に、その実現性はありますか。

- | | | |
|------|----------|--------|
| 1.ある | 2.ほとんどない | 3.全くない |
|------|----------|--------|

問7. 老後生活を送るうえで、あなたの希望をどんなことでもよいから述べてください。

JICA